終末を生きる
シリーズ〜終末を生きる〜
2018年元旦礼拝
万物の終わりが迫っています。だから、思慮深くふるまい、身を慎んで、よく祈りなさい。何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。不平を言わずにもてなし合いなさい。あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。語る者は、神の言葉を語るにふさわしく語りなさい。奉仕をする人は、神がお与えになった力に応じて奉仕しなさい。それは、すべてのことにおいて、イエス・キリストを通じて、神が栄光をお受けになるためです。栄光と力とが、世々限りなく神にありますように、アーメン。
万物の終わりが迫っている

この世界を造り始められた神が、この世界を終わらせられる

「始め」と「終わり」：朝と夜・生と死

キリストによって贖罪が完成したことによって、「終わりの時代」が始まった

すべての人ごとに救いのチャンスが備えられた

「終末」はこの世界における神の最後の恵みである

人間が破壊し尽くす前に神が終わりを与えられる
終わりは迫っているけれども

平素心を保つ

「思慮深くふるまい」：正気でいる・冷静である
「身を慎む」：しらふでいる（酔っぱらっていない）
終わりが迫っているからといって、あわてふためいたり、なげやりになったりせず、祈りに集中する

心を込めて愛し合う

「愛し合う」こと以上に大切なことはない
「心を込めて」：熱心に、全力を注いで
「愛は多くの罪を覆う」：罪は愛に勝てない
賜物の管理者として

すべては神からの賜物である
   自分で造り出したものは何もない

私たちは賜物の管理者である
   「神のさまざまな恵みの善い管理者として」

賜物を誰かのために生かす
   自分のためのものではない
賜物を生かして仕えあう

不平を言わずに互いにもてなしあう

「もてなし（フィロクセノス）」: 外国人に親切にする

めざそう「おもてなし教会」

不平を言うぐらいならもてなさない方がよい！

神の言葉を語るにふさわしく語る

“まるで神が語られるように”語りなさい

確信をもって御言葉を伝えよう！

神がお与えになった力に応じて奉仕する

仕える力も神から賜ったもの

出し惜しみせず奉仕しよう！
すべては神の栄光のために

- 賜物を生かして仕えあうとき、賜物を授けて下さった神がたたえられる
  - 自分が認められたり、褒められたり、称賛されるために生きているのではない!

- 万物の終わりが迫っていても、私たちがなすべきことに変わりはない!
  - 祈ること・愛し合うこと・もてなし合うこと・神の言葉を語ること・賜物を生かして仕えあうこと
  - 今日が最後になるかもしれないのだから一生懸命やろう!